

医療法人弘英会 琵琶湖大橋病院

2026.10

秋号 vol.17

患者さまに笑顔をお届けする
琵琶湖大橋病院 広報誌

笑顔

えごころ



[特集] 大津市消防局 × 琵琶湖大橋病院

救急医療のリアル対談



大津市消防局緊急参戦!

命をつなぐ救急医療のリアル対談

広報誌「笑心」初のコラボ企画!大津市消防局北消防署ご協力のもと、救急医療の最前線に立つプロフェッショナル同士の対談をお届けします。

琵琶湖大橋病院
循環器内科部長

鈴木 敦

私のプライベートな一面!

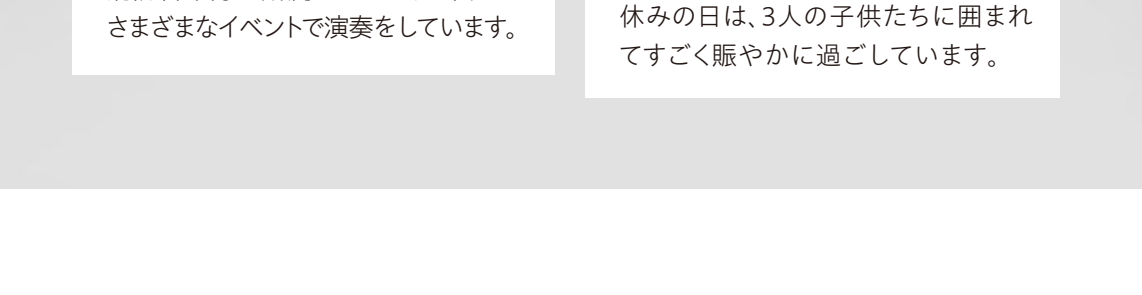
猛暑が続いた夏場は、日課のランニング後に冷たいシャワーが“ととのい”時間でした。

琵琶湖大橋病院
看護部副部長、3A病棟課長、
外来課長、中材・手術・アンギオ室
課長 兼務

安藤 智子

私のプライベートな一面!

毎年の東京ディズニーランドへの家族旅行を目標に、1年間頑張っています!



大津市消防局北消防署
消防第1課救急係 係長
消防司令補

徳永 貴哉

私のプライベートな一面!

消防音楽隊に所属しています!市内のさまざまなイベントで演奏をしています。

大津市消防局北消防署
消防第1課救急係 主任
消防士長

林 裕介

私のプライベートな一面!

休みの日は、3人の子供たちに囲まれてすごく賑やかに過ごしています。

一分一秒に全力!

救急隊と病院の

チーム医療

救急要請の一報を受け、現場へと駆けつける救急隊。その先で、患者様を受け入れ、治療にあたる医師や看護師。命をつなぐために、それぞれのプロフェッショナルが担う役割があります。

救急搬送される患者様のなかでも、心疾患や血管疾患など循環器内科に関わる症状は多く、心筋梗塞をはじめとした命に関わる重篤なケースも少なくありません。こうした一分一秒を争う場面では、瞬時の判断と迅速な搬送、そして救急と医療の確かな連携体制が、患者様のその後の人生を大きく左右します。

今号では、大津市消防局北消防署で救急隊員として活動されている徳永さん、林さんをお招きし、当院循環器内科部長の鈴木先生、看護部の安藤副部長とのスペシャル対談が実現しました。

救急搬送の現場で救急隊が見ているもの、病院側の受け入れ体制、昨今社会問題となりつつある救急車の適正利用への思いまでを語っていただきました。

地域のSOSを支える 舞台裏

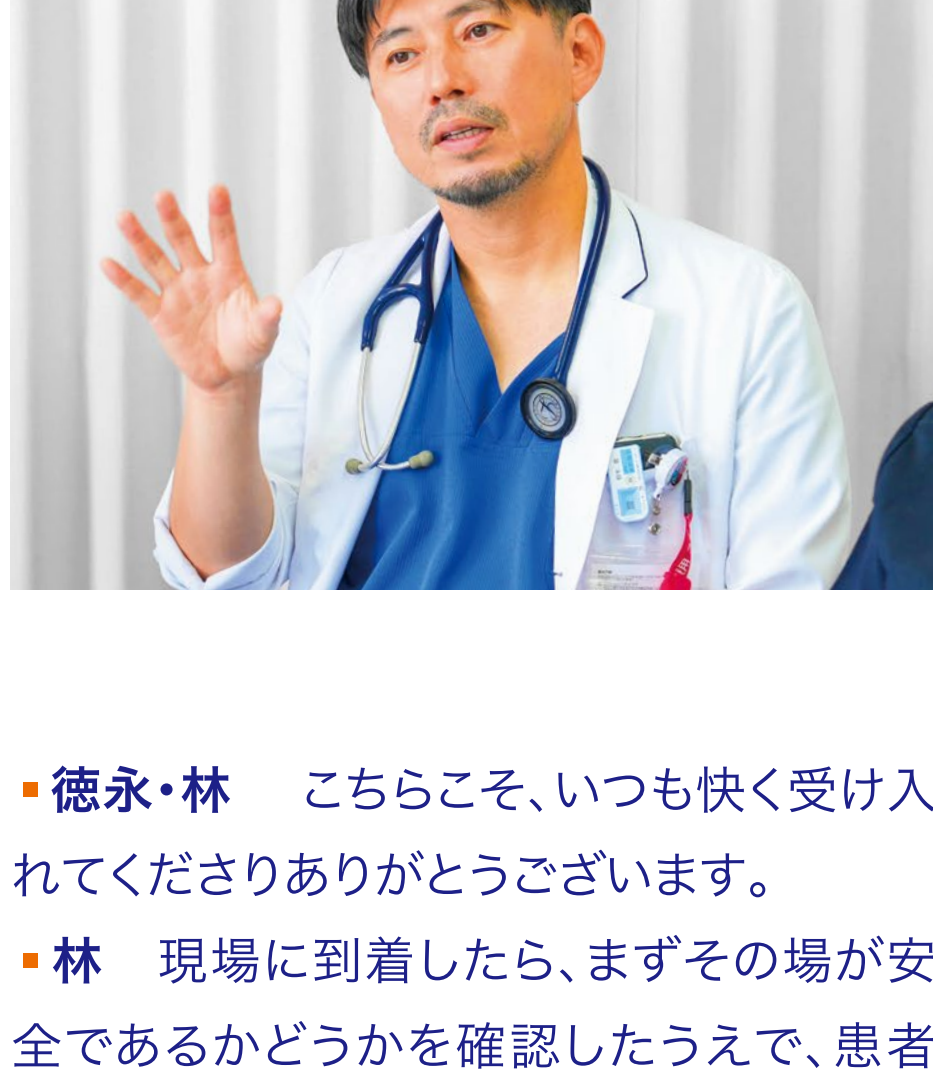


現場でのあらゆる

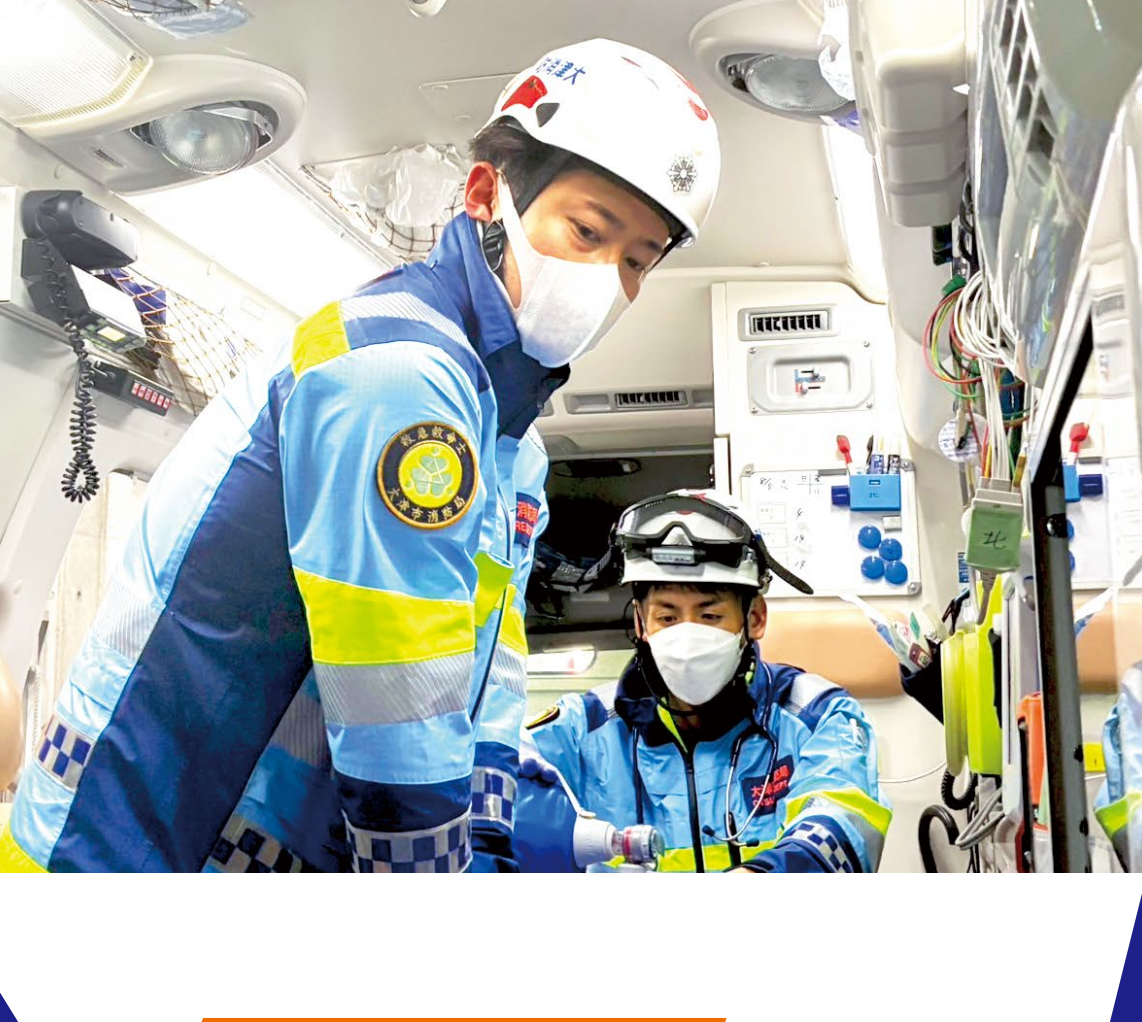
“気づき”が

患者様の命を救う!

- 鈴木 いつもとは違う強い胸の痛みを感じて救急車を呼んだのに、病院に着いたら痛みが治まった、という患者様は少なくありません。一時的な症状の裏には、心筋梗塞などの重篤な病気が隠れている可能性もあるので、痛みの原因を突き止め、適切な治療につなげることが大切です。通報時の状況や現場での患者様の様子など、救急隊の方々からいただく情報は、診断の大きな手がかりとなります。
- 徳永 特に上半身は臓器が多いため、痛みの出どころを特定するのが難しい場所です。肺や胃が痛いとおっしゃる方や、肩や顎が痛いとおっしゃる方も。しかし、私たちはこれらを心筋梗塞など重大な疾患のキーワードとして捉え、些細なことでも漏れなく病院側に伝えます。
- 鈴木 以前も、救急隊の方が事前に心電図をとってくださったことで、治療開始までのステップを大幅に省くことができました。一刻を争う場面での救急隊の方々の機転には、いつも本当に助けられています。



- 徳永・林 こちらこそ、いつも快く受け入れてくださりありがとうございます。
- 林 現場に到着したら、まずその場が安全であるかどうかを確認したうえで、患者様の意識や呼吸の有無、脈拍、体温、顔色などをチェックして、生命に直結する危険がないかを判断します。意識がない、顔色が真っ白といった状態は血液の循環が悪いので、緊急性が高いサインです。
- 徳永 搬送先の病院は、現場からの距離や緊急性の高さ、専門性、かかりつけ病院かどうかなど、滋賀県の基準に沿って選定します。歩行に問題がなさそうな場合は歩いて救急車に乗っていただくなど、患者様の観察結果に基づき、救急車までの搬送方法も決定します。
- 安藤 「歩けるけれど、ふらつきがある」など具体的に伝えていただくことで、ストレッチャーと車椅子のどちらを用意するか、病院側の準備も変わってきます。また、お酒の空き缶が転がっている、服薬の形跡があるなど、現場でしかわからない情報は、私たちにとってカルテの一部のように大切なもの。他にも、ご家族の連絡先やお薬手帳がないかもチェックしていただきます。



お断りしない、 お待たせしない、BOHの 救急受け入れ体制改革

■ **鈴木** 当院では近年、緊急度の高い救急患者様を「決してお断りしない」という強い姿勢のもと、体制の強化を図っています。専門医が在籍していないなど、当院を経由することで逆に患者様の負担となってしまうケースを除いては、原則断らない方針です。むしろ、どうすれば一人でも多くの患者様を搬送していただけるのかを病院全体で考えています。

■ **安藤** 病院として大きな改革の一つが、救急隊からのすべての電話を、看護師が直接受ける体制にしたことです。以前は事務スタッフが電話を受け、看護師や医師に確認してから返事をする流れだったので、保留時間が発生し、救急隊にも患者様にも大きな負担をかけてしまっていました。今は「救急隊からの電話は、保留を押さない」というところまで徹底して指導しています。私たちは「早く受けないと!」、救急隊の方は「早く受け入れてもらわないと!」という想いが強くて、電話の際はお互いにすごく早口で話していると思います(笑)



■ **林** 命の危険が迫る状況では、受け入れ先が決まっていなくても救急車を走らせる

こともあります。病院を探している間のわずかな時間すら無駄にしたくないからです。

■ **鈴木** 救急車の中で心臓マッサージを続けながら「病院からの返事はまだ!?!」ということもあるのでは?

■ **徳永** まさにそうです。現場では到着して

から、迅速な救命処置を行い、病院に向かうよう努めており、長くなれば長くなるほど

患者様の命に危険が迫ります。実際に、琵琶湖大橋病院さんへ電話をかけている立場

として、受け入れ体制の変化やスピード感を実感しています。

■ **安藤** 看護師と救急隊員が直接話すことで、患者様の状態や現場の様子について、

より専門的なやりとりができるようになりました。救急車が到着するまでには、患者

様の状況が私たちの頭の中にインプットされている状態なので、到着と同時に一斉に

動くことができます。だから搬送が連続で

続いてもスムーズな受け入れが可能です。

■ **鈴木** そうですね。実際、当院では連続で

搬送をお受けすることがよくあります。つい

最近も、患者様を搬送してくださった救急

隊の方が、数十分後にまた別の患者様を運

んでこられた、ということがありましたよね。

■ **林** そう言ってもらえると、私たちもとて

も心強いです。近隣地域で立て続けに救急

要請があったときなど、快く「来てもらって

大丈夫!」との返答をいただけるので私達

も助かっています。



■ **安藤** ありがとうございます。これからも、

ぜひ気兼ねなく患者様を搬送してください。

■ **鈴木** 大津市北部地域の中核病院であ

る当院は、地域住民の皆様の生命と健康を

守る重要な役割を担い、救急隊との迅速かつ

円滑な連携によるスムーズな搬送受入

体制を維持しています。これからも地域に

根ざした信頼される救急病院として、一人

でも多くの方の生命を救い、地域住民の皆

様の期待と信頼に全力でお応えしていきたい

と思います。



迷った時は#7119へ

市民一人ひとりが救急隊

■ **徳永** 昨今、軽症での救急要請が増え、本当に必要な方に救急車が駆けつけられないことが全国的に問題になっています。「救急車を呼ぶべきか」と迷ったときには、看護師などの専門員に直接医療相談ができる「#7119(15歳以下は#8000)」を利用させていただくなど、救急車の適正利用のご協力を強く訴えています。

■ **安藤** いつもと違う症状に不安を覚え、誰に相談して良いかわからなくて救急車を呼ばれる患者様のお気持ちは、すごくよくわかります。だからこそ、「#7119」などのサービスを利用してほしいです。24時間365日相談できて、今すぐ救急車を呼ぶべきか、少し様子見ても大丈夫なのか、ということを専門的な目線で判断してもらえます。



■ **徳永** また、大津市消防局では、「AED GO(AED運搬支援システム)」というアプリの周知にも力を入れています。心肺停止疑いの通報を受けた際、事前登録した救命ボランティアにアプリを介して通知されます。近くにいる救命ボランティアがAED(自動体外式除細動器)を持って現場に駆けつけ、救急車が到着するまでの間に応急手当を行っていただくシステムです。

■ **林** AEDの設置場所や傷病者のいる場所への最短ルート等が表示されるので、これまで以上にAEDを活用し、命を救う可能性が上がります。市民向けの救命講習会なども定期的に行っていますので、一人でも多くの方にご協力いただきたいと思います。

■ **鈴木** 昨今の救急事情を考えると、「本当に救急車を呼んでもいいのか」と迷われる方もいると思いますが、救急車を呼ぶこと自体は悪いことではありません。今まで経験したことのない痛みや苦しみなど、危険が差し迫った場合は迷わず救急車を呼んでください。それで怒る人はだれもいません。治療が遅れて、大事な命が失われてはいけません。

救急搬送後も安心の体制！
私たちがサポートします！

琵琶湖大橋病院の 循環器内科

ってこんなところ！

循環器内科の領域は、不整脈、虚血性心疾患、心不全をはじめ実に多彩です。当院の自慢は、驚くほどのフットワークの軽さと、スタッフ間の距離の近さ。患者様のことを第一に考える環境が、質の高い医療につながっています。



鈴木先生



安藤副部長

1秒でも早く治療を開始できれば、病気の前とほとんど変わらない生活に戻られる方もたくさんいらっしゃいます。逆に治療が遅れると、それだけ元の状態に戻ることが難しくなる。だからこそ、いち早く治療することが本当に大切なんです。

24時間体制の緊急カテーテル対応

心筋梗塞や狭心症などに対するカテーテル治療を滋賀県内で最も早く導入し、症例経験が豊富です。昼夜問わず緊急カテーテル検査に対応し、緊急性の高い疾患にも迅速な処置を行います。

常勤の循環器内科医師が5名在籍

専門性の高い心血管治療はもちろん、鈴木先生が担当する不整脈外来などの専門外来も設置。多職種連携にて、一人ひとりの患者様の再発防止と生活の質の維持・改善を目指しています。

各大学病院との密な連携

より専門的な治療が必要な場合は、京都府立医科大学附属病院や滋賀医科大学附属病院などの高度急性期病院と密に連携し、医師・看護師または臨床工学技士の同乗のもと、円滑な病院間搬送を行います。

＼ 弘英会で働く ／

医師・職員

紹介

弘英会グループでは、たくさんの医師や職員が活躍しています。今回ご紹介するのはCKDセンター医師の田口先生と、看護師の吉井さんです！

医師

田口 俊亮 先生

CKD(腎臓病)センター



プロフィール

免許取得年：2016年

専門領域：泌尿器科

出身大学：滋賀医科大学

認定資格他：日本泌尿器科学会認定 泌尿器科専門医

癌患者様の声に背中を押され

研究者から、医師の道へ

CKDセンター腎臓内科医師の田口と申します。私はストレートに医師になった訳ではなく、理学部から大学院へ進み、ハワイで「ギボシムシ」を用いた無脊椎動物の進化研究に没頭していました。研究そのものは非常に魅力的でしたが、研究者として生活を成り立たせる難しさを痛感。縁あって外資系製薬会社に就職し、抗癌剤の研究開発に携わるようになりました。

入社8年目の頃、末期癌の患者会の方々が職場を訪れ、「皆さんが研究している薬が私たちに届く頃には、もうこの世にいないかもしれません。でも、皆さんを励ましたくて来ました」と声をかけてくださいました。抗癌剤は高価で製薬会社は海外で批判されることも多く、研究者として複雑な思いを抱えていた私にとって、この言葉は胸に深く刻まれました。入社10年目を迎えた頃、この言葉を思い返し、もっと患者様に直接寄り添える仕事がしたいという思いが強くなり、医師を志す決意を固めました。

医師となっただけからは、腎臓・膀胱・前立腺といった泌尿器系の癌に対する手術や薬物治療をはじめ、尿路結石、排尿障害、感染症など幅広い疾患の診療に携わってきました。現在は入院患者様の泌尿器科診療に加え透析業務も担当し、湖西地域の医療貢献に努めています。

プライベートでは小学生から30年以上剣道を続けています。剣道で培った礼節や粘り強さを、医師としての姿勢に活かしてまいりたいと考えております。

職員

吉井正美

看護部



プロフィール

役 職：看護部 CKDセンター上席課長

資格取得年：准看護師免許 昭和58年

看護師免許 平成29年

4人の孫と亀に囲まれて

大騒ぎの日々を過ごしています

CKDセンターの管理業務を始め、センターを見学される患者様、当院に転院される患者様や新たに透析導入される患者様、ご家族様の面談・相談を担当しています。ご希望やお悩みを傾聴し、一人一人に寄り添う看護を心がけ、気楽にお声がけしていただけるような明るく開けたセンターを目指しています。看護師として、CKDセンターだけではなく病院内をウロウロしていることもあるので、もし見かけたら気軽に声をかけてくださいね！

プライベートでは、長男家族と同居中。4人の孫に囲まれ、賑やかを通り越し、大騒ぎの日々を過ごしています。孫が拾ってきた亀を私がお世話しているのですが、毎日声かけしていると可愛くて可愛くて。亀がこんなに可愛いとは思ってもみませんでした。

普段は、少し手間暇のかかる料理を作ること気分転換をしています。また趣味はTVドラマを観ることと旅行です。旅行では、まだまだ行ったことがない場所が多いので、おすすめの場所があったらぜひ教えてください。

部署

紹介

CKDセンター

吉井さんの所属する CKDセンターをご紹介します！

CKDセンターは看護師20名、臨床工学技士18名、介護士12名、事務3名、臨床工学技士サポート1名の合計54名が勤務しています。来院される患者様が、少しでも快適に安心して透析を受けていただけるよう、スタッフが丸となってサポートしています。それぞれのスタッフが職種を超えてお互いを助け合い、和気あいあいとした笑顔の多い職場です。

CKDセンターのメンバーです！



医療法人弘英会の
介護施設や介護サービスをご紹介します

心ある介護

当施設デイケアの
取り組みを紹介します！



B・O・Hケア・サービスセンター
通所リハビリテーション課 課長

山藤 勇太

新人教育を通して 全職員が学び・育つ

当施設のデイケアでは、在宅で生活をされているご利用者様に、施設での専門的なリハビリや食事・入浴などのサービスを提供しています。「全職種全職員による積極的なリハビリテーションの提供」をコンセプトに、医療機関からの継続支援を通じて、身体機能や日常生活能力の維持・向上、社会性を保つためのケアを行っています。

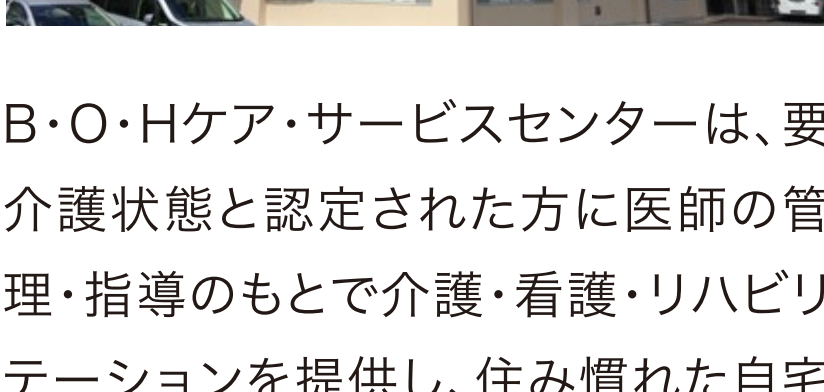
当施設は、大津市北部全域からご利用者様が来られます。介護保険下でありながら、琵琶湖大橋病院と連携しているため、退院直後の回復途中の方から在宅で通われている方まで、回復の先にある生活に即した幅広いリハビリを提供できることが強みです。

私たちが大切にしているのは、ご利用者様の「やりたいけれど、諦めていること」へのチャレンジを支えることです。異なる職種の職員が一つのチームとなり、ご利用者様の目標の実現に向けて支援しています。それを支えるのが、新人教育による職員同士の学びです。全ての職員が新人教育に携わることで、自分自身の日々の支援を振り返り、知識や技術、関わり方を改めて考える機会となっています。

職員同士の学び合いの積み重ねが施設全体のサービス向上へとつながり、ご利用者様へのより良いケアを育んでいく。そんな職場を目指しています。



B・O・Hケア・サービスセンター



B・O・Hケア・サービスセンターは、要介護状態と認定された方に医師の管理・指導のもとで介護・看護・リハビリテーションを提供し、住み慣れた自宅での生活を可能な限り継続できるよう支援しています。

B・O・Hケア・サービスセンター

〒520-0361

滋賀県大津市伊香立途中町704番地

TEL.077-598-2133

B・O・Hケア・サービスセンター

ホームページはこちら！

<https://boh-care.jp/facilityservice/nursinghome/>

介護インフォ

KAIGO INFO

介護情報に関するご案内

HP、SNSも
是非ご覧ください！

介護サービスの
詳細はHPより
ご覧いただけます

<https://boh-care.jp/>

各介護施設の
お知らせなどは
こちら！

<https://www.instagram.com/koueikai.kaigo/>

弘英会と連携する **頼れる** ケアマネ紹介

弘英会と共に地域を支える
ケアマネをご紹介します！



在宅介護ファミリーケア堅田センター
居宅管理者

辻 和美 さん

資格

- ・主任介護支援専門員
- ・鍼灸師

利用者様の人生を 最期まで輝かせたい

今から22年前、全くの異業種からいきなり介護の世界に飛び込みました。当時は右も左もわからない私でしたが、温かく受け入れてくれたファミリーケアのみなさん、そして利用者様やご家族から、数えきれないほど多くのことを学ばせていただきました。時にはお叱りを受けながらも、長年同じ事業所でともに考え、歩んでくれる仲間にも恵まれ、今日までくることができました。

たくさんの出会いの中で私が学んだことは、利用者様の人生を最期まで輝かせるために、ご本人とご家族の想いを受け止め、支えられるケアチームを作ることが、ケアマネジャーの大切な仕事だということです。

この地域は幸い医療体制も整い、頼れる介護事業所さんも多く、ケアマネ事業所同士のネットワークや協力体制にも恵まれています。これからもこの地域で、『この場所で、よい人生だった』と思っていただけるよう、良いケアチームを作ってお手伝いをしていきたいと思っています。

事業所

在宅介護ファミリーケア 堅田センター

〒520-0241

滋賀県大津今堅田2丁目26-8

北村産業ビル3F

TEL.077-571-2102

ファミリーケアのホームページはこちら！

<https://famille-care.co.jp>



BOH パートナークリニック

琵琶湖大橋病院と連携している
医院や診療所をご紹介します！

内科・循環器内科

医療法人いながきハートクリニック

(大津市蓮池町)

2014年にJR唐崎駅近くで開院したいながきハートクリニックは、地域に根ざした「かかりつけ医」を目指して診療を行っております。私自身は、京都大学、米スタンフォード大学で心臓病治療の研究に従事し、大津赤十字病院で救急医療や心臓カテーテル治療に携わった後、当院を開院しました。

心臓・血管の病気は、高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病、肥満、喫煙などが大きな原因となります。当院は循環器疾患の診療を専門とし、心臓疾患の診療はもちろん、生活習慣病の予防・治療、健康診断、ワクチン接種まで、病気の早期発見と予防にも取り組んでいます。看護師長・事務長を中心とした12名のスタッフとともに、皆様の長寿と健康に貢献してまいりますので、些細なことでもどうぞお気軽にご相談ください。



院長 稲垣宏一



医療法人いながきハートクリニック

滋賀県大津市蓮池町14番24号

※駐車場あり

TEL:077-526-8000

<https://inagakiheartclinic.com/>

【クリニック診察時間】

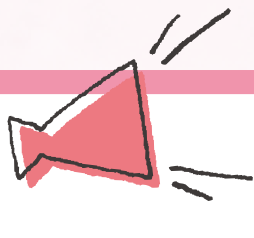
診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
08:30～12:00	●	●	●	●	●	●	
14:30～18:00	●	●	●		●		

【休診日】

木曜・土曜午後

日曜、祝日

聞いてほしい！



地域自慢

船づくりの技術とともに琵琶湖・
堅田の文化・歴史・誇りを伝えたい



杵兵衛（もくべえ）造船所は、明治5年の創業から150年以上にわたり、琵琶湖で船を造り続けてきました。

琵琶湖とともに歩み、これまで多くの船を建造・修理してきましたが、私たちが守りたいのは、船だけではありません。船造りを通して育まれた船大工の技術、堅田の歴史や文化、そしてこの地域の誇りです。かつて堅田周辺には多くの造船所が軒を連ねていましたが、今ではこうした技術や文化を伝えられるのは私たちだけになりました。

だからこそ、この地域で生まれ育った私たちが、その役割を果たしていかなければならないと考えています。

私たちは船を造るだけでなく、地域の皆さんと笑顔になれる機会も大切にしたいと考えています。その取り組みとして、船の上からしか見ることのできない景色や琵琶湖・堅田の魅力を多くの方に知っていただけるよう、観光船の運航を行っています。また、毎年開催している「堅田湖族フェスタ」もその一つ。今年は11月14日（土）に開催を予定しており、地域への感謝を伝え、子どもたちに「このまちが好き」「堅田っていいところやな」と思ってもらえるきっかけになることを願っています。

こうした取り組みにより、この地域をもっと好きになり、このまちが自慢だと思ってくださる方が一人でも増えれば、私たちにとって何よりの喜びです。そして、「やっぱり杵兵衛やね!」と思っていただけるように、これからも地域とともに歩み続けてまいります。



株式会社杵兵衛造船所

〒520-0241

滋賀県大津市今堅田1-2-20

TEL ▶ 077-572-2101

【杵兵衛造船所】

<https://www.mokubezosen.jp/>

【レークウエストヨットクラブ】

<https://lakewest.jp/>

— 診療案内 —

一般外来診療のご案内 (ご予約をされていない方)

各診療科の診療日・担当医については、
当院までお問合せください。

TEL **077-573-4321**

詳細は当院ホームページでも
ご確認ください。

琵琶湖大橋病院

検索

<https://boh.or.jp/>

かかりつけ医がある方は
紹介状をお持ちください

— 病院案内 —



医療法人 弘英会

琵琶湖大橋病院

公財)日本医療機能評価機構認定病院

〒520-0232

滋賀県大津市真野五丁目1番29号

広報誌「笑心」、次回は冬発行予定です。
笑心では、弘英会のファンづくりを目指
して、様々な施設や取り組み、働く職員な
どを紹介していきます！ぜひお楽しみに！